

令和5年度 関東高等学校水泳競技大会

第74回 関東高等学校選手権水泳競技大会

兼第91回 日本高等学校選手権水泳競技大会関東地域予選会

実 施 要 項

(競泳 ・ 飛込 ・ 水球)

期日	(競泳) 令和5年7月21日(金)～23日(日) 3日間
	(飛込) 令和5年7月21日(金)～22日(土) 2日間
	(水球) 令和5年7月23日(日)～25日(火) 3日間
会場	東京アクアティクスセンター (競泳) (飛込) (水球)
主催	関東高等学校体育連盟・公益財団法人日本水泳連盟 東京都教育委員会
主管	関東高等学校体育連盟水泳専門部 東京都高等学校体育連盟・公益財団法人東京都水泳協会
後援	公益財団法人東京都体育協会

1 期 日

- (1) 開 会 式 競泳 令和5年7月21日(金) 9時30分～
 飛込 7月21日(金) 9時30分～
 水球 7月23日(日) 8時30分～
- (2) 競 技 競泳 令和5年7月21日(金)～23日(日) 3日間
 飛込 7月21日(金)～22日(土) 2日間
 水球 7月23日(日)～25日(火) 3日間
- (3) 閉 会 式 競泳 令和5年7月23日(日) 15時30分～(予定)
 飛込 7月22日(土) 15時30分～(予定)
 水球 7月25日(火) 15時30分～(予定)

2 会 場

- (1) 競 泳
 ア 開 会 式 東京アクアティクスセンター
 〒135-0053 東京都江東区辰巳2-2-1 TEL 03-5534-6410
 (東京メトロ有楽町線「辰巳駅」下車徒歩約10分)
 イ 競 技 同 上
 ウ 閉 会 式 同 上
- (2) 飛 込
 ア 開 会 式 東京アクアティクスセンター
 〒135-0053 東京都江東区辰巳2-2-1 TEL 03-5534-6410
 (東京メトロ有楽町線「辰巳駅」下車徒歩約10分)
 イ 競 技 同 上
 ウ 閉 会 式 同 上
- (3) 水 球
 ア 開 会 式 東京アクアティクスセンター
 〒135-0053 東京都江東区辰巳2-2-1 TEL 03-5534-6410
 (東京メトロ有楽町線「辰巳駅」下車徒歩約10分)
 イ 競 技 同 上
 ウ 閉 会 式 同 上

3 参加都県

東京都・茨城県・埼玉県・神奈川県・山梨県・群馬県・栃木県・千葉県(1都7県)

4 競技種目(日程)

- (1) 競 泳
 ア 種 目

種 目	男 子					女 子				
自由形	50m	100m	200m	400m	1500m	50m	100m	200m	400m	800m
背泳ぎ	100m	200m				100m	200m			
平泳ぎ	100m	200m				100m	200m			
バタフライ	100m	200m				100m	200m			
個人メドレー	200m	400m				200m	400m			
フリーリレー	4×100m		4×200m			4×100m		4×200m		
メドレーリレー	4×100m					4×100m				

イ 競技日程

第1日 7月21日 (金)	第2日 7月22日 (土)	第3日 7月23日 (日)
開会式 9時30分 競技開始 10時00分	競技開始 9時30分	競技開始 9時30分 閉会式 15時30分
No 性別 種目	No 性別 種目	No 性別 種目
1. 女子200m平泳ぎ 予選 2. 男子200m平泳ぎ // 3. 女子 50m自由形 // 4. 男子 50m自由形 // 5. 女子200m個人メドレー // 6. 男子200m個人メドレー // 7. 女子400m自由形 // 8. 男子400m自由形 // 9. 女子200mバタフライ // 10. 男子200mバタフライ // 11. 女子4×100mフリーレーン // 12. 男子4×100mフリーレーン // 13. 女子200m平泳ぎ 決勝 14. 男子200m平泳ぎ // 15. 女子 50m自由形 // 16. 男子 50m自由形 // 17. 女子200m個人メドレー // 18. 男子200m個人メドレー // 19. 女子400m自由形 // 20. 男子400m自由形 // 21. 女子200mバタフライ // 22. 男子200mバタフライ // 23. 女子4×100mフリーレーン // 24. 男子4×100mフリーレーン //	25. 女子200m自由形 予選 26. 男子200m自由形 // 27. 女子800m自由形 タイム決勝 28. 女子100m背泳ぎ 予選 29. 男子100m背泳ぎ // 30. 女子100mバタフライ // 31. 男子100mバタフライ // 32. 女子400m個人メドレー // 33. 男子400m個人メドレー // 34. 女子4×100mメドレーレーン // 35. 男子4×100mメドレーレーン // 36. 男子1500m自由形 タイム決勝 37. 女子200m自由形 決勝 38. 男子200m自由形 // 39. 女子100m背泳ぎ // 40. 男子100m背泳ぎ // 41. 女子100mバタフライ // 42. 男子100mバタフライ // 43. 女子400m個人メドレー // 44. 男子400m個人メドレー // 45. 女子4×100mメドレーレーン // 46. 男子4×100mメドレーレーン //	47. 女子100m自由形 予選 48. 男子100m自由形 // 49. 女子200m背泳ぎ // 50. 男子200m背泳ぎ // 51. 女子100m平泳ぎ // 52. 男子100m平泳ぎ // 53. 女子4×200mフリーレーン // 54. 男子4×200mフリーレーン // 55. 女子100m自由形 決勝 56. 男子100m自由形 // 57. 女子200m背泳ぎ // 58. 男子200m背泳ぎ // 59. 女子100m平泳ぎ // 60. 男子100m平泳ぎ // 61. 女子4×200mフリーレーン // 62. 男子4×200mフリーレーン //

- ※1 リレー種目の決勝の前に、表彰式終了後 10 分程度の休憩を入れる。
 ※2 予選・決勝ともに 10 レーンで行う。タイム決勝は 10 レーンで行う。
 ※3 予選競技はリレー種目・背泳ぎ種目を除き、オーバーザトップ方式で行う。

(2) 飛 込

ア 競技種目

(ア) 男子の部

- ・ 3m飛板飛込 10 演技種目
 - 制限選択飛 (難易率合計 9.5 以内) 各群より 5 演技種目
 - 自由選択飛 各群より 5 演技種目
- ・ 高飛込 9 演技種目 (6つの群より選択)
 - 制限選択飛 (難易率合計 7.6 以内) 異群より 4 演技種目
 - 自由選択飛 異群より 5 演技種目

(イ) 女子の部

- ・ 3m飛板飛込 9 演技種目
 - 制限選択飛 (難易率合計 9.5 以内) 各群より 5 演技種目
 - 自由選択飛 異群より 4 演技種目
- ・ 高飛込 8 演技種目 (5つ以上の群より選択)
 - 制限選択飛 (難易率合計 7.6 以内) 異群より 4 演技種目
 - 自由選択飛 異群より 4 演技種目

イ 競技方法

- (ア) 参加選手 16 名以上の競技種目は予選を行う。
 (イ) 予選における演技種目は自由選択飛とする。
 (ウ) 決勝進出者は予選上位 12 位までの選手とする。
 (エ) 決勝は、各種目とも、それぞれの制限選択飛、自由選択飛の全種目で行う。
 (オ) 順位の決定は決勝の得点合計によって行う。
 ※飛込は「ダイブシート」を予選、決勝各々 1 通、自分が行おうとする飛込演技番号・型・高さ・難易度を記入して、当該競技の前日 (12 時～15 時) の間に、飛込プールサイドに設置してある箱に入れること。なお、「ダイブシート」は公益財団法人日本水泳連盟指定の用紙を公益財団法人日本水泳連盟ホームページよりダウンロードして使用すること。

ウ 競技日程

第1日 令和5年7月21日 (金) 競技開始 10時00分 女子飛板飛込 予選・決勝

第2日 令和5年7月22日(土) 競技開始 9時30分

男子飛板飛込 予選・決勝
女子高飛込 予選・決勝
男子高飛込 予選・決勝

(3) 水球

競技日程

第1日	令和5年7月23日(日)	競技開始	9時30分	1回戦4試合	2回戦4試合
第2日	令和5年7月24日(月)	競技開始	9時00分	2回戦4試合	3回戦4試合
第3日	令和5年7月25日(火)	競技開始	9時00分	準決勝2試合	3位決定戦 決勝

5 競技規則

2023年度公益財団法人日本水泳連盟競技規則による。

6 競技方法

学校対抗とし、選手権獲得校の決定方法は、下記による。

(競泳男子・女子、飛込男子・女子、水球男子 5部門)

(1) 競泳

個人種目は1位8点、2位7点、……8位1点、リレー種目は1位16点、2位14点、……8位2点とする。同着の場合は、その順位の得点をそれぞれに与える。総合得点の最も多い学校を優勝校とする。

総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

ア リレーによる得点の多い学校。

イ 入賞者数の多い学校。(ただし、リレーは4と計算する。)

ウ 1位の数。

エ 2位の数。(以下、8位までこれにならう。)

(2) 飛込

各種目は1位8点、2位7点、3位6点……8位1点とし、得点の最も多い学校を優勝校とする。総合得点と同じ場合は、次の順序に従って順位を決定する。

ア 入賞者数の多い学校。

イ 1位の数。

ウ 2位の数。(以下、8位までこれにならう。)

エ 当該入賞者の得点の平均点が高い者のいる学校。(平均点は、小数点第3位を四捨五入し、小数点第2位まで算出する。)

オ 当該入賞者の得点の中で、1種目について最も高い数値を得た者のいる学校。

(3) 水球

ア 全試合をトーナメントで行う。(3位決定戦も行う。)

なお、前年度成績上位4チームをシードし、組合せは公開抽選を行う。

イ 1回戦から準々決勝までは7分4ピリオドで実施する。準決勝及び3位決定戦・決勝は8分4ピリオドで実施する。

7 参加資格

(1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。ただし、休学中、留学中の生徒は除く。

(2) 選手は、都県高等学校体育連盟に加盟している学校の生徒で、当該競技専門部に登録し、2023年度公益財団法人日本水泳連盟競技者登録を完了した者に限る。

(3) 年齢は、平成16年4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。(「出場」とは登録やエントリーではなく、試合への出場回数をさす)

(4) チームの編成において、全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。

(5) 以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。

ア 部員不足に伴う合同チーム(水球)

(都道府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められた場合)

詳細は、(公財)全国高等学校体育連盟が定める「部員不足に伴う複数校合同チーム参加規程」と専門部が定める「競技別部員不足に伴う複数校合同チーム参加ガイドライン」による。

イ 統廃合対象校による合同チーム

(統廃合完了前2年間に限る)

(6) 転校・転籍後1年未満の者は、参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各都県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。

(7) 出場する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する都県高等学校体育連盟会長の承認を必要とする。

(8) 参加資格の特例

ア 上記(1)及び(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断

され、都県高等学校体育連盟が推薦した生徒について、別途に定める規定に従い大会参加を認める。

イ 上記（3）のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。

【大会参加資格の別途に定める規定】

- 1 学校教育法第72条、第115条、第124条及び第134条の学校に在籍し、都県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - ① 大会参加資格を認める条件
 - ア 関東高等学校体育連盟の目的を理解し、尊重すること。
 - イ 参加を希望する専修学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、広域通信制連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、都県高等学校体育連盟の予選会からの出場が認められ、関東大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもと適切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - ② 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 関東高等学校体育大会開催基準要項を遵守し、競技種目大会申合せ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故の発生に備えて傷害保険に加入しておくなど、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。

(9) 前記（1）～（8）の他、次の項によって参加資格を得た者。

ア 競泳は各都県主催団体の予選会の成績で、各種目決勝第8位までの入賞者またはチーム（ただし、4位、5位、6位、7位、8位については別記関東大会の標準記録を突破した者に限る）とする。なお、予選・決勝を問わず、全国大会標準記録を突破した者は主催団体の推薦を経てその種目を申し込む。

注1 個人種目では、必ず標準記録を突破しなければならない。途中時間やリレーの第1泳者による正式時間の記録では標準記録の突破とは認められない。

イ 関東大会出場資格特別措置
現在の参加資格に特別措置として次の項目を追加する。

（特別措置）

選手が国際大会などの代表に選ばれたため、予選会（都県大会）に出場できない場合は、予選会（都県大会）への出場を免除する。リレー種目についても、代表選手がチームの一員として出場した当年度（4月2日以降）長水路の公式記録を採用して、標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。ただし、その理由書を都県委員長に提出すること。届出者は、当該学校長とする。このことに関する出場措置は、次のように行う。

- ① 予選会（都県大会）不出場、関東大会出場の場合は、予選会（都県大会）8位まで（標準記録突破者）＋派遣選手とする。
- ② 予選会（都県大会）出場、関東大会不出場の場合は、下位選手の操上げを行い、関東大会の出場者を8名以内（標準記録突破者）とする。

ウ 飛込は各都県主催団体の推薦を経て各都県高等学校体育連盟水泳専門部の締切に間に合うように申し込む。

エ 水球は各都県主催団体の承認を経て下記チーム数だけ申し込む。（参加チーム数を超える都県は予選会を行い、上位より参加チームを決定する）

埼玉県	4チーム	千葉県	3チーム	東京都	4チーム	茨城県	2チーム
栃木県	1チーム	神奈川県	3チーム	山梨県	1チーム	群馬県	2チーム

（合計20チーム）

オ 同一大会においては、本部の規約で重複エントリーは禁止されている。

8 引率・監督について

- (1) 出場チームの選手は必ず引率責任者によって引率される。
引率責任者は選手のすべての行動に対し、責任を負うものとする。
- (2) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める当該校の職員とする。

個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第 78 条の 2 に示された者)も可とする。ただし、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、都県高等学校体育連盟会長に事前に届け出ること。

(3) 監督、コーチ等は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。

ただし、各都県における規定が定められ、引率・監督者がこの基準より限定された範囲内であれば、その規定に従うことを原則とする。

9 参加制限

(1) 競泳は1校1種目3名以内、1名2種目以内(ただし、リレー種目を除く)。

(2) フリーリレーは参加資格を得た4名と補員を2名、メドレーリレーは参加資格を得た4名と補員を4名申し込むことができる。参加資格を得た4名と補員が出場できるのは、申し込んだ種目に限定され、他のリレー種目に出場出来ない。ただし、個人種目に関東大会に出場している者は、フリーリレー並びにメドレーリレーに出場することができる。

(参加資格を得た4名とは、決勝で関東大会参加標準記録を切り8位以内に入ったチーム並びに予選で全国大会標準記録を切ったチーム。ただし、決勝での記録とメンバーを優先する。)

(3) 飛込は1校1種目3名以内、1名2種目以内とする。

(4) 水球は1チーム監督1名、選手13名以内とする。

10 参加申込 (R5 から表記を変更)

(1) 申込書類

送付先	申込書類等	作成者				
		参加校	専門部	記録担当	競泳	飛込
〒162-8656 東京都新宿区戸山 1-17-10 学習院女子高等科 山本 智志 TEL 03-3203-1901 FAX 03-3203-8783 E-Mailアドレス 19952109@gakushuin.ac.jp	A 参加種目別一覧表及び学校長認知書 (男・女別、競技種目別) 3部提出 ①開催都県、②都県高等学校体育連盟事務局、 ③専門部控え	○				
	B 水球チーム別参加申込書 3部提出 (申込書と同じ番号の帽子を試合で着用) ①開催都県、②都県高等学校体育連盟事務局、 ③専門部控え ※別に、「チーム紹介」を写真付きデータで提出する。	○				
	C 競泳種目別提出書類(2種類) (リザルトから印刷) ① 各都県予選会の標準記録突破者一覧 ② 関東大会申込用に開催県と親子設定したWeb-swmsysのデータを各都県で作成した関東大会の仮リザルトに取り込み、印刷した種目別参加一覧			○		
	D 飛込(男・女別)種目別参加申込書 3部提出 ①開催都県、②都県高等学校体育連盟事務局、 ③専門部控え ※参加校はWeb-swmsysへログインし、関東大会へエントリー入力すること。 ※別に「出場選手名」「所属校名」「出場種目」「顔写真」(タテ5×ヨコ4cm)A4用紙サイズにまとめたものをデータで提出する。					○
	E 参加校別選手数一覧表及び参加料納入書 (振込通知書の写しを添付) ※学校名は正式名称で入力すること。			○		
情報担当 東京都高体連水泳専門部 立教池袋高等学校 酒井 一哉	E 参加校別選手数一覧表及び参加料納入書(データ) ※学校名は正式名称で入力すること。		○			
	F エントリーデータ			○		

TEL 03-3985-2707 FAX 03-3971-4930 E-Mailアドレス entry@koutairen-suiei-tokyo.net	① 予選会のリザルト m d b ファイル ② 関東大会申込用に 開催県と親子設 定したWeb-swmsysで再エントリーし たWeb-swmsysのデータ。 (できれば「リレーエントリー2.0xls m」によって、リレー種目補員データ を入力してください。) ③ ②集計時にWeb-swmsysよりダウン ロードできる「所属団体一覧表」、 ファイル名は「dantai.csv」として ダウンロードされるファイル。 ※学校名は正式名称で入力すること。				
飛込担当 東京都高体連水泳専門部 東京都立国分寺高等学校 渡辺 早紀 TEL 042-323-3371 FAX 042-325-9833 E-Mailアドレス saki.2.watanabe@gmail.com	D 飛込 (男・女別) 種目別参加申込書 ※参加校はWeb-swmsysへログインし、関 東大会へエントリー入力すること。 ※プログラム掲載用データ 「出場選手名」「所属校名」「出場種目」 「顔写真」(ﾀ5×ｺ4cm)をA4用紙サイズ				○
水球担当 武蔵高等学校中学校 工藤 互 TEL 03-5984-3741 FAX 03-5984-3883 E-Mailアドレス kudo.wataru@musashi.ed.jp	※プログラム掲載用データ 「出場チーム」写真データ	○			

(3) 申込締切

競泳、飛込、水球ともに令和5年 **6月30日(金) 必着(データ)**
※書類は7月1日までにレターパック(赤)にて郵送必着。

11 参加料

[競泳・飛込] 1名につき 3,000円
[水球] 1チーム 30,000円
※ 主管団体は、一括して下記振込先に送金すること。

みずほ銀行 調布仙川支店(店番号272)
口座番号 3043282
令和5年度関東高等学校水泳競技大会事務局

※参加料についての連絡先
〒182-8510 東京都調布市若葉町1-41-1
桐朋女子高等学校 鎌田 依利
TEL 03-3300-2111 FAX 03-3300-4266

12 表彰

優秀な成績を収めた者を表彰する。表彰は各競技会場で行う。

(1) 競泳

ア 各種目の第8位までに賞状を授与し、その榮譽を称える。表彰式への参加者は第3位までとする。

イ リレー種目優勝チームには持ち回りの優勝杯を贈る。

ウ 総合成績

男女とも第8位までの学校に賞状を授与し、その榮譽を称える。優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。閉会式への参加者は第8位までとする。

エ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(2) 飛込

ア 各種目の第8位までに賞状を授与し、その榮譽を称える。表彰式への参加者は第3位までとする。

る。

イ 総合成績

男女とも第8位までの学校に賞状を授与し、その榮譽を称える。優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。閉会式への参加者は第8位までとする。

ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

(3) 水球

ア 第4位までの学校に賞状を授与し、その榮譽を称える。表彰式への参加は第4位までとする。

イ 優勝校には持ち回りの優勝杯を公益財団法人日本水泳連盟より贈る。

ウ 前年度優勝校にはレプリカを授与する。

13 水球組合せ抽選会

令和5年7月1日(土)14時00分から、武蔵高等学校中学校・大教室において公開抽選を行う。

14 宿泊 別紙大会宿泊要項による。

15 監督者会議

[競泳] 令和5年7月20日(木)16時00分 会場：東京アクアティクスセンター(スタンド)

[飛込] 令和5年7月20日(木)16時00分 会場：東京アクアティクスセンター(会議室)

[水球] 令和5年7月22日(土)16時00分 会場：東京アクアティクスセンター(会議室)

16 事務局

○競泳の事務局 〒182-0011 東京都調布市深大寺北町5-39-1
東京都立調布北高等学校 須田 雄介(すだ ゆうすけ)
TEL 042-487-1860 FAX 042-483-7081

○飛込の事務局 〒185-0004 東京都国分寺市新町3-2-5
東京都立国分寺高等学校 渡辺 早紀(わたなべ さき)
TEL 042-323-3371 FAX 042-325-9833

○水球の事務局 〒176-8535 東京都練馬区豊玉上1-26-1
武蔵高等学校中学校 工藤 互(くどう わたる)
TEL 03-5984-3741 FAX 03-5984-3883

17 全国大会への参加資格

各地域大会における以下の成績の者またはチームは、各都道府県高等学校体育連盟及び加盟団体の推薦を得て全国大会に出場することができる。

(1) 競泳

ア 地域大会において、各決勝種目の第3位までの入賞者、またはチーム。

イ 地域大会において、予選及び決勝を問わず全国大会の標準記録を突破した者、またはチーム。

なお、同タイムも含むものとする。

(ア、イの確認事項)

注1 都府県大会の記録で出場することは認められない。

注2 決勝における正当な理由のない棄権者の参加は認めない。

注3 フリーリレー、メドレーリレーは、地域大会において、予選・決勝で出場資格を得たメンバーの4名を含む5名を申し込むことができる。その全員が地域大会に参加していることを条件とする。ただし、競技の際は個人種目に出場する者と交代させることができる。

注4 全国大会へのエントリータイムは、地域大会の予選・決勝のうち速いタイムとする。ただし、アに該当する場合は、出場資格を得た決勝での記録とし、予選で標準記録を突破している場合は予選の記録とする。

注5 地域大会が開催できなかった場合、または都府県単位で参加が認められなかった都府県は各都府県大会の記録を採用する。

注6 地域大会及び都府県大会ともに開催できなかった場合には、2022年4月1日以降2023年7月25日までの長水路公式記録を採用し、出場を認める。(ただし、個人種目のみとし、リレー種目は除く。)

ウ 各都府県特別措置

地域大会において、全国大会の出場資格を得なかった都府県は、男女各1名を1種目のみ、出場資格者として各都府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。出場資格者の男女一方が欠けている場合は、欠けている方について1名1種目の推薦を認める。

注1 推薦は、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの100m・200m及び200m個人メドレー、50m自由形の種目の中から、地域大会において全国大会の標準記録に最も近い記録の者とする。

エ 全国大会開催都府県特別措置

開催都府県で、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの100m・200m及び200m個人メドレー、

50m 自由形の種目において出場者を得られなかった場合は、地域大会の上記該当種目に出場した最上位の者、男女各1名を、大会出場者として全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。

※ 北海道は、1道1地域のため、ウ及びエの特別措置の対象とはならない。

オ 全国大会特別措置

選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため、予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。リレー種目についても、予選会において代表選手がチームの一員として出場し、全国大会標準記録を突破しているチームと認められた場合、同様の措置を適用する。また、リレー種目において、国際大会出場によるインターハイ辞退者が複数名含まれた場合、補員を増やすことを可能とする。辞退者が2名の場合は1名。3名の場合は2名の増員を可能とする。ただし、4名全員が辞退する場合は、予選競技参加者が不在のため補員の増員は行わない。

ただし、ウ・オについてその理由書（特別措置申請書）を都道府県委員長に提出し、その後、都道府県高等学校体育連盟水泳専門部委員長は、下記申込先へ提出すること。届出者は、当該学校長とする。

(ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長

(イ) 地域高等学校体育連盟事務局のある都道府県高等学校体育連盟会長

(ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長

(エ) 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

(上記に関しての出場措置は、次のように行う。)

(1) 個人種目について

ア 予選会不出場、全国大会出場の場合は、地域大会3位まで+派遣選手とする。

イ 予選会出場、全国大会不出場の場合は、繰上げを行い、地域大会の出場者を3名とする。

(注)各都道府県内の予選会から、代表選手を参加制限の人数の中にも含めなければならない。

(2) リレー種目について

ア 当該年度（4月2日以降）長水路の公式記録を採用する。（各個人の合計記録は認めない）

イ チームとしては、都道府県予選会、地域大会には出場する。地域大会の記録を優先し、突破できなかった場合に適用する。（代表選手が出場した場合は除く）

カ 競泳の標準記録

		関東大会		全国大会	
		男子	女子	男子	女子
自由形	50m	25.99	28.89	24.09	27.15
	100m	56.79	1:01.79	52.45	58.81
	200m	2:06.39	2:14.49	1:54.51	2:06.83
	400m	4:27.19	4:49.19	4:03.47	4:26.41
	800m	-----	10:09.29	-----	9:11.13
	1500m	17:32.69	-----	*16:14.25	-----
背泳ぎ	100m	1:03.99	1:11.19	59.03	1:05.08
	200m	2:22.29	2:33.39	2:08.74	2:19.56
平泳ぎ	100m	1:11.69	1:19.79	1:04.42	1:12.84
	200m	2:38.39	2:54.89	2:19.22	2:35.71
バタフライ	100m	1:01.69	1:08.49	56.03	1:02.68
	200m	2:21.29	2:36.29	2:04.05	2:18.19
個人メドレー	200m	2:21.59	2:32.59	2:08.20	2:22.63
	400m	5:11.49	5:39.29	4:33.44	*5:02.46
リレー	4×100m	3:58.49	4:24.19	3:36.31	4:02.26
	4×200m	8:29.29	9:54.59	7:52.81	8:45.98
メドレーリレー	4×100m	4:27.79	4:56.09	3:56.68	4:26.16

(2) 飛 込

ア 地域大会において、各競技種目の第1位の者。

イ 標準点数を突破した者（同点可）。

※審判員は各ブロックにおける、A級またはB級審判員によって構成される。

ウ 標準点数

種目/性別	男子	女子
飛板飛込（3m）	10演技 293.00	9演技 256.00
高飛込	9演技 259.00	8演技 231.00

エ 全国大会開催都道府県特別措置

地域大会において、開催都道府県に出場資格者がいない場合、その該当競技種目において成績上位の選手男女各1名を、全国大会開催都道府県の高等学校体育連盟及び加盟団体で推薦することができる。

オ 全国大会特別措置

国際水泳競技大会の代表選手は、都道府県・地域大会を経なくても出場できる。選手が国際大会などの代表選手に選ばれたため予選会に出場することができない場合は、予選会への出場を免除する。ただし、その理由書（特別措置申請書）を学校登録の都道府県高等学校体育連盟 水泳専門部委員長に提出し、その後、委員長は下記へ提出すること。なお、届出者は当該学校長とする。

(ア) 学校登録の各都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長

(イ) 地域高等学校体育連盟事務局のある都道府県高等学校体育連盟会長

(ウ) 地域大会開催都道府県高等学校体育連盟水泳専門部長

(エ) 全国大会開催都道府県高等学校体育連盟会長

(3) 水 球

ア 地域大会の成績によって次のチームが本大会に出場できる。

北海道・東北	上位2位まで	関東	上位4位まで	北信越	上位2位まで
東海	上位2位まで	近畿	上位3位まで	中国	上位2位まで
四国	上位1位まで	九州	上位3位まで		

イ 上記チームの他、主催都道府県にチームがある場合は、主催都道府県枠として1チームを加えることができる。

注1 主催都道府県枠のチーム選考は、地域大会の成績により決定する。

- 注2 地域大会において、主催都道府県枠のチームが地域枠に入った場合は、地域大会の順位が地域枠の次の順位のチームを繰上げ、地域枠 + 1チームとする。
- ウ 地域大会出場チーム数がアの数に満たない場合でも試合を行い、順位を決める。
- エ 主催都道府県のチームが不出場の場合並びに地域予選に出場するチーム数が地域枠に満たない場合は、(公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部と(公財)日本水泳連盟において協議し、全国大会は20チーム参加とする。
- オ 地域大会において、災害や気象条件等により正式な出場権決定戦が実施できない場合は、(公財)全国高等学校体育連盟水泳専門部の確認事項に基づき、関係するチームに不利益が被らないように試合条件を変更して出場権を決定することができる。
- 試合実施の可否については各地域大会主幹県実行委員会において判断する。

18 練習会場・日程

- [競泳] 令和5年7月20日(木) 東京アクアティクスセンター メインプール
9時00分～18時00分
- [飛込] 令和5年7月20日(木) 東京アクアティクスセンター ダイビングプール
10時00分～16時00分
- [水球] 令和5年7月22日(土) 明大中野高校・城北高校・武蔵高校
11時00分～16時00分

19 会場開・閉門時間

- (1) 会場開門時間
- [競泳] 令和5年7月21日(金)～23日(日) 7時50分
- [飛込] 令和5年7月21日(金)～22日(土) 7時50分
- [水球] 令和5年7月23日(日)～25日(火) 8時00分
- (2) 会場閉門時間
各競技終了後1時間を原則とする。

20 連絡事項

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止或いは延期、又は、種目・順序等の開催方法を変更させて頂く可能性があります。
- (2) 競技中の疾病・負傷等の応急処置は主催者側において行うが、その後の責任は負わない。なお、参加者は健康保険証を持参すること。
- (3) 開会式への出場選手は各都県より男女各5名とし、各都県の委員長が代表して出席する。また、閉会式は、各都県の委員長が代表して出席する。
- (4) 宿泊斡旋を受けずに、各校で宿泊の予約を取ることは禁止する。
- (5) 大会を中止した場合、参加料は必要経費を差し引いた額を返金する。

21 会場使用についての注意事項

【会場共通】

- (1) 貴重品の管理は各校で行うこと。また、更衣室等では私物の管理を徹底すること。
- (2) ロッカーは、鍵をかけず、ロッカールームに荷物などは絶対に放置しないこと。
- (3) 選手、監督等のADカードは、会場受付にて配布する。選手及び監督は必ずADカードを首からさげること。
- (4) 会場内でビデオ・カメラを撮影する場合は、通行の妨げにならない場所で使用すること。
※撮影許可書の発行はしない。
- (5) 各会場(観客席・更衣室・ロッカー・トイレ・選手控所等)を利用するときは、整理整頓に努め、ゴミは、原則として持ち帰ること。
- (6) ~~プールエリアは履物の使用を禁止する。~~
プールアリーナ・1階スタンド下の廊下では、室内履きを原則とする。
- (7) スタンドの使用(バックヤードを含む)については都県毎に割り振りを行、各種目の開催期間中は同じエリアを使用する。